● 編集・発行/ベイ★キッズ編集部[NPO法人シャーロックホームズ] 〒220-0002 横浜市西区南軽井沢18-1-110 TEL.045-324-5033 FAX. 045-548-4514 http://baykids.jp info@baykids.jp *情報提供や広告掲載に関するお問い合わせは上記まで。 *紙面の無断転載を禁じます。

も

わ

か

も

絵

百日

8

年齢別にオススメ絵本はどんどん変わる

絵本は、読み聞かせる子どもの年齢 によって選び方が変わります。

横浜市では、4ヶ月児健診時に配布す るおすすめ絵本リスト「おひざにだっこ で楽しむ絵本1、3歳以上を対象にした



「おうちでいっしょに楽しむ絵本」という小冊子を作っています。

例えば0歳の子は字は読めませんね。でも、絵本を通して言葉を楽し むことはできます。ストーリーがあることもまだわからないので、最後ま で読まなくてもOK。絵本を使って遊ぶつもりで、親がまず楽しむことが 大切です。色が鮮やかなもの、面白い言葉のものなど、本を使って、豊か にコミュニケーションをとるヒントを知ってもらいたいです。また、昔か ら歌い継がれてきた「わらべうた」もぜひご家庭で楽しんでください。赤 ちゃんは「わらべうた」が大好きです。親子で「わらべうた」を楽しむこと によって、「聞く」「話す」という言葉の土台ができます。



1歳くらいからは言葉が出たり 「犬」や「車」を認識して指をさした りと、ものに名前があるということ が徐々にわかり始めます。0歳の読 み始めた頃は絵本に登場するもの 自体を知らないケースも多いです

が、1歳前後になると、お家の中でしか知らなかった絵本の中の「絵の犬」 とお散歩の途中で見る「実物の犬」と、その生き物が「いぬ(あるいはワン ワンなど)という名前」だとわかる。認識と実態と言語の3者が一致する と、子どもの世界は一気に広がり、絵本の楽しみ方もぐんと深まります。

2歳からは子どもの生活の中での経験や知識が描かれた絵本がおす すめです。自分で服を着たり、カブを抜いたり。子ども自身が主人公にな って丸ごと絵本を楽しむことができる時期です。

3歳以上になるとストーリーがあるものも読めるようになってきます。 結末が安心できる内容を選びましょう。

子どもが絵本に向き合う様子はさまざまです。図鑑が好きな子ども、 虫や電車など特定のものに興味を覚える子ども、耳から聞くのは楽しめ る子など、多様でいいのです。図書館にはたくさんの本があるので、お子 さんがどんな本が好きなのか、色々と試すことができます。お子さんの 成長や日々の様子を見て、今ならこの絵本が楽しめるかも、と気軽に借 りられるのも図書館ならではの醍醐味です。

絵本選びのヒント

絵本を通じく近へればUK

言葉の響きやリズム、色がはっきりしたものを

1~2歳 言葉と実物と絵(イメージ)が一緒になる

2~3歳 生活の中の経験を絵本に投影

3~4歳 ストーリーがわかり始める。簡単で安心できる内容を。

4~5歳 少し長いものも楽しめるようになる

5~6歳 絵本だけでなく「物語」も聞かせてあげよう

6歳~ 字を覚え、一人読みもでき始めるころ 図書館にある「はじ めて物語コーナー」には子どもが自分で読みやすい本を集めています。 でも、字が読めるようになっても、物語を理解して楽しめるのはまだ先 です。しばらくは親子で一緒に楽めると良い

ですね。



横浜市立図書館に行ってみよう

図書館は静かな場所だから子ども連れ は行きにくい、なんて思っていませんか?横 浜市各区にある市立図書館には全館「初め て出会う絵本コーナー」があり、0歳からの お子さんの来館を歓迎しています。大人専 用のコーナーとはエリアを分けていますの で、絵本コーナーで読み聞かせすることも OK。気になる絵本が見つかったら声に出し てお子さんに読んであげましょう。図書館 カードは0歳から作れます(住所など確認 できるものが必要・無料)。ベビーカーだっ





て大丈夫。そのまま図書館内に入れます。授乳室がある館もありますし、 専用の部屋がなくても申し出れば授乳用に個室を用意してくれます。ま た「親子おはなし会」も実施されていて、わらべうたや絵本の読み聞かせ をしています。ホームページ等でご確認ください。

横浜市立図書館のホームページはステイホーム中に「おうちで楽しめ るコンテンツ」として紙芝居などの動画やぬり絵などを順次掲載し内容 がとても充実しました。図書館に行けない場合も、サイトを見ればオス スメの本や所蔵しているかどうかもわかるし、それを参考に予約して取 り寄せたり本屋で購入してもいいと思います。ひらがなを中心に書かれ た「キッズページ」もあり、年齢別のオススメの本や図書館の使い方など がわかりやすく書かれています。

いろんな絵本を見せたほうがいいの?

お子さんが気にいった絵本があれば繰り返しであっても読んであ げることがいいですよ。好き嫌いないようにと親は思いますが、 子どもが読んで欲しいと思うものを読んであげましょう。

絵本に流行はありますか?



図書館に置いてあるのは長年親しまれた定番のものが 中心です。美しい絵、選び抜かれた日本語で書かれた、よい 絵本はロングセラーとして残っていきます。

本が作る豊かな親と子のコミュニケーションの時間

物語の楽しさを知ることは一生の宝物。本を読む楽しさがあれば人 生がもっと楽しくなると思います。そのきっかけづくりは、子ども時代に 親がプレゼントできること。同じ本を一緒に読むという経験は子どもが 小さいうちだけの期間限定イベントです。おうち時間に生身の交流とし てわらべうたや絵本を活用し、親子のコミュニケーションや言葉の世界 を楽しんで欲しいです。

◆お話を伺った方 横浜市中央図書館 鈴江夏さん

「本選びに困ったら司書にご相談ください」





本を 5 な 読 年齡 み 聞 か せ ま た (1 け (1 何 **の** を か 読 な ん だら 横 浜 (1 の (1 図 **0**

を通

館

で聞

(1

きまし

tz T